

漁港漁場管理と利用の効率化事業（新規）

1 趣 旨

漁港や地先の増養殖場等の漁場は漁業生産活動の基地であり、その適正な利用と安全の確保は水産業の持続的な発展と地域の安定に欠かせない重要な課題であるが、近年では不審船等の出没、密航・密輸事件や密漁の発生等安全面の問題が生じるとともに、プレジャーボート等の増大、産地市場の統合等に伴い漁港等の利用形態が大きく変化しようとしている。

このような社会情勢の変化に対し、従前の管理体制では十分な対応が困難となっていると同時に、将来の漁港の利用形態を正確に予測することが必要となっている。

このため、省力化・自動化を図った漁港漁場の高度管理と適正利用を推進するための体制を構築するとともに、水産物流通の変革に対応した水産基盤のあり方を検討する。

2 事業内容

(1) 漁港漁場管理システムの開発

漁港漁場のセキュリティ向上と適正利用を図るため、漁港漁場における船舶の出入港管理、常時監視、防災機能の確保、プレジャーボート等の漁港利用申請手続きの電子化、適正な施設利用の普及・啓発等を実現する高度管理システムを開発する。

(2) 流通の変革に対応した水産基盤効率化の検討

将来の水産物流通の変革による漁業活動や地域経済の影響、水産基盤の利用形態の変化等のシミュレーションを実施し、水産基盤の機能強化に向けた計画検討とガイドラインの策定を行う。

3 委託先

(財)漁港漁場漁村技術研究所、(社)フィッシャリーナ協会

4 事業実施期間

平成16年度～平成18年度

5 平成16年度予算額（前年度予算額）

148,500千円（ 0千円）

(目)水産業振興事業委託費 108,000千円

(目)水産業振興事業民間団体委託費 40,500千円

(担当課：水産庁漁港漁場整備部計画課)